

評語付与方式

人事評価記録書(看護師長)例

評価期間 平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日

被評価者 所属: 職名: 氏名:

期末面談 平成 年 月 日

1次評価者 所属・職名:	氏名:	1次評価記入日: 平成 年 月 日
2次評価者 所属・職名:	氏名:	2次評価記入日: 平成 年 月 日
確認者 所属・職名:	氏名:	確認日: 平成 年 月 日

(I 能力評価)

評価項目及び行動/着眼点	自己申告	1次評価者		2次評価者
	(コメント:必要に応じ)	(所見)	(評語)	(任意)
<倫理> 1 看護に関する業務に従事する者としての責任を自覚しつつ業務に取り組むとともに、服務規律を遵守し、全体の奉仕者として、公正に職務を遂行する。				
① 責任感 看護に関する業務に従事する者としての責任を自覚しつつ業務に取り組む。				
② 公正性 服務規律を遵守し、全体の奉仕者として、公正に職務を遂行する。				
<知識・技術・業務遂行> 2 看護に関する業務についての専門的知識・技術及び経験に基づき、迅速かつ適切に業務を行う。				
① 迅速・適切な業務遂行 専門的知識・技術や豊富な経験に基づき、困難な事案や特殊事例にも対応する。				
② 課題把握 課題を的確に把握し、業務上の判断に反映する。				
<信頼関係の構築> 3 上司・部下・関係部署等との信頼関係を構築し、連携して事案に対応する。				
① 協調性 上司・部下や他部局等の担当者と協力的な関係を構築する。				
② 説明 ポイントを整理し、筋道を立てて分かりやすく説明する。				
<患者等への説明・指導> 4 患者やその家族等と円滑かつ適切なコミュニケーションをとり、分かりやすい説明・指導を行う。				
① 役割確認 患者やその家族と円滑なコミュニケーションを行う。				
② 説明・指導 説明する相手方に対応した理解しやすい説明・指導を適切に行う。				
<部下の育成・活用> 5 部下の指導、育成及び活用を行う。				
① 業務配分 部下の配置、作業の割り振りを行う。				
② 部下の育成 部下の育成のため、的確な指示やアドバイスを与え、問題があるときは適切に指導する。				

【全体評語等】

1次評価者	2次評価者
(所見) (全体評語)	(所見) (全体評語)

評価期間	平成	年	月	日	～	平成	年	月	日
------	----	---	---	---	---	----	---	---	---

期首面談	平成	年	月	日
期末面談	平成	年	月	日

被評価者	所属:	職名:	氏名:
------	-----	-----	-----

1次評価者	所属・職名:	氏名:	1次評価記入日: 平成	年	月	日
2次評価者	所属・職名:	氏名:	2次評価記入日: 平成	年	月	日
確認者	所属・職名:	氏名:	確認日: 平成	年	月	日

(Ⅱ 業績評価)

[1 目標]

番号	業務内容	目標 (いつまでに、何を、どの水準まで)	困難	重要	自己申告 (達成状況、状況変化その他の特筆すべき事情)	1次評価者		2次評価者 (任意)
						(所見)	(評語)	
1	安全な看護の提供	<ul style="list-style-type: none"> 医療事故の防止促進のため、ヒヤリハット事例報告会を毎月開催するほか、医療事故事例や危険事例を研究する医療事故事例研究会を年△回開催する。 昨年度多発した与薬事故を防止するため、病棟内での与薬の際には、①2名以上による確認、②指さし呼称の徹底、③患者本人に名前を名乗ってもらうなど患者確認の徹底をし、今年度の事故数を昨年度に比べて〇%縮減する。 今年〇月までに運用、マニュアル、手順等の見直しを行い、今期中に修正し、より安全かつ効率的に医療行為が行えるようにする。 			<ul style="list-style-type: none"> ヒヤリハット事例報告会を毎月開催したほか、病院全体を対象とした医療事故事例研究会については年〇回開催し、概ね目標を達成することができた。 与薬事故防止についても、目標時に記載した①～③の手法により、前年度に比べて△%の減となるなど一定の成果が見られた。 運用、マニュアル、手順等の見直しを進め、△月には改正を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ヒヤリハット事例報告会を毎月開催したほか、医療事故事例研究会は年〇回開催しており、概ね目標を達成できた。 与薬事故の防止については、新人看護師を中心に徹底して指導をすることにより、前年度比△%の減少につながった。 運用、マニュアル、手順等を見直し、△月に改正を行った。 	b	b
2	適切な看護業務の推進	<ul style="list-style-type: none"> 〇〇委員会のメンバーとして、患者がスムーズに退院出来るよう、△月までに退院指導マニュアルの作成に取り組む。 毎日の巡回業務において、入院患者の状況や環境を常に意識するため、患者とも毎日コミュニケーションをとって、変化を見逃さず、適切な看護を行う。 部下の看護師に対しても、毎日のミーティング等を通じて上記の取り組みを指導し、細かな状況変化等についても報告を求める。 			<ul style="list-style-type: none"> 委員会の取組結果として、退院指導マニュアルを△月に作成し、他の看護師に対しても〇月に説明会を開催して情報提供した。 毎日の巡回で入院患者と必ず会話をするようにすることで、患者の細かな体調変化に早期に気づき、適切な看護が行えた。 毎日のミーティングで、部下の看護師に毎日の巡回での患者の変化を報告させて情報を共有しており、看護サービスの向上に繋がった。 	<ul style="list-style-type: none"> 退院指導マニュアルの作成にあたっては、委員会の中でも中心となって取り組み、目標であった△月までに作成した上、△月に実施された看護師に対しての説明会時に活用していた。 入院患者と毎日コミュニケーションをとることで、体調変化に早期に気づいており、適切な看護が行えている。 毎日のミーティングで部下から患者の変化を報告させて、情報共有を行っている。 	b	b
3	看護体制の見直し・人材育成	<ul style="list-style-type: none"> 病床機能別の看護必要度を明確化し、〇月までに適正な看護配置を検討し、年度内にその結果を看護師長会に報告する。 隣県で導入済のPNSについて情報を収集し、既存の看護方式との比較から、導入に向けた検討結果をまとめ、〇月までに看護師長会において報告する。 部署内の看護の質の向上を図るために、病院内での研修を期間中に〇回行う。 			<ul style="list-style-type: none"> 〇〇課等と連携し、看護必要度に応じた適正な看護配置を検討するとともに△病棟との緊急時の応援体制についてもルールを検討して、年度末にその結果を看護師長会へ報告した。 PNS導入済の病院から情報を収集した結果として、特に「パートナー同士の技術の補完」や「業務の効率化」の観点に有用性を見出し、それらを△月の看護師長会で報告した。 看護師の質を向上させることを目的とした研修を〇回開催するとともに、中堅看護師を対象にした技能講習会を△回開催して、人材育成に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇〇課等と連携した適正な看護配置と△病棟との緊急時の応援体制のルールについて検討を進め、看護師長会へ報告を行った。 PNSの有用性について、△月の看護師長会で報告した際には、既存の看護方式との比較をしながらよく整理して報告していた。 病院内での研修を、目標どおり〇回開催したことに加え、中堅看護師に対する講習会を開催するなど、人材育成を積極的に進めた。 	a	a
4	<p>※上記の記述はあくまで例示です。</p>							

被評価者	所属:	職名:	氏名:
------	-----	-----	-----

【2 目標以外の業務への取組状況等】

番号	業務内容	自己申告 (目標以外の取組事項、突発事態への対応等)	1次評価者
			(所見)

【3 全体評語等】

1次評価者		2次評価者	
(所見)	(全体評語)	(所見)	(全体評語)